

日本点字事情 かわら版

横浜市立
盲特別支援学校
点字研究部
文責 道村静江

2008年2月13日発行 NO.76

試験問題の点字表記 その6

3. 選択肢の書き方

- (1) 選択肢が問いの文から独立していたり、
選択肢群としてまとめて提示する場合

選択肢は探しやすいことが大切である。選択肢は、どんなに短くても1行に一つが原則で、選択肢ごとに行を替える。また、選択肢群はできる限り2ページにまたがらないように配慮する。

選択肢に番号や記号が付されていることが望ましく、それらの番号や記号を選んで解答するような指示の出し方をする。選択肢に番号や記号が付されていない場合には、適切な番号や記号を新たに起こすことも考慮する。また、ピリオドやカッコを付加した記号の後を2マスあけて、よりはっきり目立たせる書き方もある。

選択肢群の書き出し位置については、『試験問題の点字表記 第2版』には行頭2マスあけて並べる例しか載っていない。そこには選択肢群を区別するために前後に空白行を入れている。2行に渡る場合は、行頭から続けて書くパターンが載っているが、選択肢の記号を目立たせるために、2行目をさらに下げて書く方法も実際にはよく使われている。これ以外にも、行頭4マスあけにして並べることも選択肢群を早く見つけ出せるので有効である。しかし、行頭4マスあけにして2行に渡る場合は、2行目をどこから書き始めるかの判断が難しいので注意する。もちろん、2行目を行頭から書き出すことは間違いであり、1行目と2マスの差をつけて書き出す。

(ア) 快い言葉は貴いが、手数がかかる

(イ) 人は必要なときだけ紳士になることはできない

□□(ア) □ココロヨイ □コトバワ □トートイガ、 □テスーガ □
カカル

□□(イ) □ヒトワ □ヒツヨーナ □トキダケ □シンシニ □ナル □
コトワ □デキナイ

(よりはっきりさせるために、記号を目立たせる書き方も有効である。)

□□(ア) □□ココロヨイ □コトバワ □トートイガ、 □テスーガ □
□□□□カカル

□□(イ) □□ヒトワ □ヒツヨーナ □トキダケ □シンシニ □ナル □
□□□□コトワ □デキナイ

ア．もうすぐ昼だ。

イ．もうすぐ夜が明ける。

ウ．もう日が暮れる。

□□ア::□モ－□スグ□ヒルダ。

□□イ::□モ－□スグ□ヨガ□アケル。

□□ウ::□モ－□ヒガ□クレル。

(よりはっきりさせるために、行頭 4 マス空けやピリオド・カッコ記号の後に 2 マス空けるなどの書き方も有効である。)

□□□□ア::□□モ－□スグ□ヒルダ。

□□□□イ::□□モ－□スグ□ヨガ□アケル。

□□□□ウ::□□モ－□ヒガ□クレル。

4．書き方の形式追加部分 (73号と重複部分があります)

(1) 問題番号

4 マスあけて大問番号だけを書き、問題文(リード文)は次の行から行頭 2 マスあけて書く。定期試験など大問題がいくつかある場合にはこの書き方にするが、簡単な小テストや小問がない場合などは、2 マスあけて問題番号を書き、同じ行に問題文を書くこともできる。

「問い 1」などの書き方は、次の 2 種類のどちらを使ってもよい。

トイ□::1 トイ:::1

(2) 各問題の配置や区切り

基本的に大問題ごとにページを改める。校内の簡単な試験や分量の少ない問題では書き続けることもできるが、大問題との間に空白行を 2 行分入れたり、区切り線を活用するなどして、読みやすさや検索のしやすさなどを考慮してレイアウトを決める。

問題の最後に終了を意味する終止線を使うとよい。その場合、大段階の::の連続線(レ下がり線)を使うとよい。

5．点字化に当たって配慮する追加事項

(1) 墨字問題が点字使用者を対象として作成されていない場合には、問題量、図や表の量、視覚的な設問などが適切であるか、削除・差し替えが可能かなどを十分に検討する。また、大量の選択肢を簡略化したり、図や表などには、問題を解くために必要でない情報が盛り込まれている場合もあり、提示しなくても解答できるものや特徴だけを抜き書きすることができるものなど、問題の意図をよく汲んで点字化することが必要である。

さらには、理数系の分野などでは、墨字使用者と点字使用者の思考の流れの違いをよく理解し、筆算と珠算・暗算の手法の違いや分数計算などの縦書きと横書きの違いを考慮したり、思考の流れを問う虫食い算や穴埋め問題などを他の形式に変えるなどの配慮も必要である。

(2) 問題文を読んで、全体像がわかるようなリード文の書き方を工夫する。

「後の問いに答えなさい。」 「後の問い 1 から問い 8 に答えなさい。」

また、理科などでは、提示される実験・観察などの詳しい説明の前に、どのような実験・観察なのかが簡単にわかる概要の説明文を付け加えたりするとよい。